

2015(平成27)年度 学校関係者評価

星翔高等学校

| 分類 | 学校関係者評価委員の評価と提言 |
|---------|---|
| 学習指導等 | <ul style="list-style-type: none"> ・あるテレビ番組で紹介された高校では、ベル着を確実にするため始業の5分前に音楽を流し、それに併せて生徒は教室に入り、先生は各教員室を出る。これだけで年間15時間以上の授業時間が確保できるという。本校も真似て欲しい。 ・「自学自習」の指導が十分でないように思われる。確認も必要だが、各担当者、担任による指導が重要であろう。 ・学校の取り組みについては、教員の方々の努力により成果が上がっていると思われるが、自学自習に関しては生徒個人、家庭での取り組み方、保護者の意識の差にもよると思われる。家庭学習のあり方も考えたい。 |
| 生徒指導等 | <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が昔と比べて「サラリーマン化」しているという人がいる。「サラリーマン化」とはどういう意味か。一定時間に課されたノルマを上質にこなす。この意味において「サラリーマン化」は決して悪いことではない。しかし、一方で、いわゆる「熱血先生」たる資質が希薄でプラス「何か」が足りなく、例えばクラブ活動に熱心に取り組む、家庭訪問の身軽な実施、きめ細かな個別指導の実践、学習指導研究を惜しまない等。こうしたことに取り組まない先生が増えたという意味なら問題だ。 ・登下校マナーの悪さについて、一部生徒の行動によって全体評価として見られる傾向にあるようだ。このような点にも配慮して生徒指導体制に取り組んで欲しい。 ・頭髪、服装指導は出来ている。挨拶はクラブの生徒たちはよく出来ているが、その他の生徒はよくわからない。 |
| 進路指導等 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業でOBがたくさん頑張っている。OBの力も借りて、もっと就職活動に力を入れてもらいたい。 ・各生徒の進路に対して、生徒と話し合い進学、就職を問わずよく指導されている。 |
| 特別教育活動等 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動は活発に活動し、結果も出ている。継続して頑張って、結果に結びつけてもらいたい。結果が全てというわけではないが。 ・ボランティア活動は、直に人の喜びに触れることの出来る活動でもある。もっと広くボランティア活動を呼びかけ実行してもらいたい。 |
| 学校運営等 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員会議がすっかり形骸化しているようだ。会議の有効性の評価が低いのはいかにも異常と思われる。個々は校長はじめ各部局のリーダーの統率力、決断力の見せ所ではないだろうか。 ・理事者、教職員、事務職員、組合、学校関係者が一致団結して頂きたい。特に、教職員がバラバラで、余り仲よくないように見える。 ・教職員に校外での研修機会をもっと奨励して欲しい。 ・現状学校運営がうまく機能していないように見受けられます。原因の分析が急務ではないでしょうか。 ・学校運営において、校内研修等に全教職員が参加し研修できていることは評価できる。 ・保護者会役員・委員との交流関係は良好であるが、その他の保護者に関心を持ってもらえるような関係づくりが必要と思われる。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の充実はその私学としての優位性は求められるだろう。経済的な施策順位としては、なんとしても上位に置くべきだろう。 ・施設設備の老朽化への対策は、学園理事会においての早急の検討が必要と考えます。 ・他校でも施設設備の老朽化が進み、新校舎建築により新たなスタートに繋がっているように思う。本校も新たなスタートを切れるような、ソフト面、ハード面での改革を望む。 |